

環境文教委員会 送付27-2

神田地区での認可保育園等の増設と保育園送迎用駐輪場の整備等を求める陳情

受付年月日 平成27年2月13日

陳情者

陳情書

(趣旨)

待機児童ゼロと公表している千代田区でも、近年、認可保育園やこども園、幼保一体施設（以下「認可保育園等」という。）への入園を申し込んでも入れない子どもたちが増えています。来年度については、例えば1歳児では77名の募集に対し、188名の申込みがあり、2歳児・3歳児でも定員を大幅に上回る申込みがあったため、入園待ちをしている保護者はいつになったら安心して子供を預けて仕事に復帰できるのかという不安を抱えながら審査結果を待っているところ です。

神田地区では、26年10月現在、待機児童は6名（すべて0歳）、特定園留保が79名（0歳が55名、1歳が15名、2歳児1名）発生しており（この他、区全体で留保127名、転所留保が39名）、特に0～2歳児の保育供給が需要に追い付いていない状況です。

同地区では、27年度にあい保育園東神田が新設されますが、0～2歳の定員は計30名に過ぎません。同保育園は区の最東部に位置しており、東神田・岩本町周辺に居住する子どもには至適である一方、その立地ゆえに通園が困難となる子どももいるため、神田地区内でのさらなる保育施設の整備が求められます。

神田地区では、平成28年4月予定で定員10名の小規模保育所のほか、平成29年4月予定で定員72名の私立認可保育園の誘致が予定されているとのことですが、逼迫する需要を満たすにはより早急な対応が必要と考えます。現在、同施設を使用している写真美術館の使用期限は28年4月30日までであり、改装工事等を急ぐことにより、開設を28年度中に前倒しすることは十分可能ではないかと考えられます。

また、あい保育園東神田には駐輪場がないとのことです。同様に、神田保育園、千代田幼保一体施設、西神田保育園も送迎で使う自転車をお迎えの時間帯まで安心して置いておくことができるスペースがありません。昨今の保育園不足の影響によって、すべての子どもが自宅至近、または徒歩圏内の保育園への通園が叶っている訳ではなく、自転車を利用して通園せざるを得ないケースも少なくありません。子育てしながら働く保護者の負担を軽減するため、さらに、子どもたちの安全や周辺の路上等への無断駐車防止のため、保育園敷地内又は周辺地域に保育園送迎用自転車の駐輪スペースを確保・整備することを求めます。

その他、子供たちを安心して保育園に通わせることができるようさらなる施策の充実をお願いします。

,

(陳情項目)

- 一、神田地区で平成29年4月に新設が予定されている私立認可保育園の開設時期を前倒しすること。
- 二、逼迫する需要に対応するため、神田地区内にさらに新しい認可保育園を整備すること。
- 三、あい保育園東神田、神田保育園、千代田幼保一体施設、西神田保育園の敷地内や最寄りの地下鉄駅等を含めた周辺の地域に保護者が保育園の送迎に使う自転車をお迎えの時間帯まで安心して置くことができるスペースを確保・整備すること。
- 四、認証保育所も含め区内の保育園の子どもたちがお散歩に行く先の公園で子供たちを副流煙から守るため、特に、区が管理する公園については密閉型の喫煙スペースの整備等を行うこと。
- 五、施設型の病児保育の拡充についての検討を進めるとともに、病児病後児保育派遣費用助成の年間の上限額を、特に病気をしやすい0～2歳の児童について引き上げること。

平成26年2月6日

千代田区議会議員 嶋崎 秀彦 様